

Oliver Cann, Director, Public Engagement, Tel.: +41 79 799 3405; Email: Oliver.Cann@weforum.org

不完全就業、不十分な社会的包摂、迫りくる脅威：2017年の世界

- 「グローバルリスク報告書 2017年版」では、2016年の政変の引き金となった所得格差の拡大、社会の両極化の影響により、直ちに対策を講じなければ2017年にグローバルリスクが深刻化する恐れがあることが示されています。
- 主要なリスクは、より包括的な社会を建設することで制御および排除可能であり、そのためには長期的視点に立った国際協力が不可欠となります。
- 気候変動は所得格差、社会の両極化とともに2017年の主な影響のトップを占めています。5種類の環境リスクが発生可能性、影響力ともにすべて高く位置づけされたのは初めての事です。
- 報告書の全文は <http://wef.ch/risks2017> からお読みいただけます。

2017年1月11日、英国、ロンドン - 経済の不平等、社会の両極化、高まる環境危機が、今後10年間に世界の発展の方向性に影響を及ぼす3つの主因であることが、世界経済フォーラムの「グローバルリスク報告書 2017年版」により明らかになりました。今後10年間、さらなる困窮や社会不安を回避するためには、各国指導者の一致団結したアクションが急務です。

今回の年次調査では、およそ750名の専門家により30種類のグローバルリスク、また、そのリスクを増幅したり、リスク間の相互関連性を変化させる可能性のある13種類のリスク・トレンド（潜在的影響）が査定されました。世界各地で高まる政治不信や崩壊を背景に、調査からは3つの主要項目が浮かび上がりました。

- 持続するパターン。** 収入および貧富の格差拡大と社会の両極化は、今後10年間の世界の動向を左右する潜在的影響の中で、それぞれ1位と3位にランクされました。同様に今回の調査では、極めて構造的な失業または不完全就業および深刻な社会不安が、リスク間の相互関連性において最高水準を記録しています。
- グローバルリスク展望の中心を占める環境問題。** 今回の調査で潜在的影響の2位にランクしたのは気候変動でした。そして今回の調査で初めて、グローバルリスク最上位にランクされた極端な気候を筆頭に、5種類の環境リスクが全て影響力および発生可能性ともに高く評価されました。
- テクノロジーの変化に追いつけない社会。** 報告書で扱われた12種類の新興テクノロジーのうち、専門家は人工知能およびロボティクスに最大の潜在的利益を認めつつ、同程度の潜在的脅威と管理システム強化の必要性を指摘しています。

パリ協定批准を受け、2016年、米国や中国を含む世界各国により気候変動対策が目覚ましい進展を遂げた一方、ヨーロッパおよび北米における政治変化により、この結果がリスクにさらされています。また、各国の指導者たちが、最も差し迫った経済的および社会的リスクへの国際レベルの取り組みにおいて直面するであろう、行動方針への同意の難しさも強調されています。

「指導者たちには、政治的またはイデオロギーの違いを超えて、重大な課題を克服するために協調の方策を直ちに取り決めることが求められています。気候変動問題解消へ向けた2016年の趨勢は、これが可能であることを示しており、国際社会が様々なリスクを取り除くことを目的とし、協調して事に当たることができるという希望を示唆しているのです」と、世界経済フォーラムの国際競争力およびリスク部門の統括者であるマルガリータ・ドレズニーク・ハノウズは語っています。

世界で最も差し迫ったリスクにどう対処するかが、1月17~20日に「迅速で、責任感のあるリーダーシップ」をテーマに開催される2017年世界経済フォーラム年次総会の議題です。

2016年は大方の予想に反した劇的な政治的事象とともに人々の記憶に残る年となるでしょうが、一連の社会および経済リスクが持続することで実社会に崩壊をもたらすという懸念は、過去10年間の「グローバルリスク報告書」で頻繁に指摘されてきました。

- 2006年の報告書では、プライバシーの排除が社会的結合力を弱めると警告していました。ただし当時、それは「最悪の事態」に分類され、発生可能性は1%を下回ると想定されていました。

- 「ポスト真実」が2016年の「今年の単語」に選ばれるずっと以前の2013年、「グローバルリスク報告書」は、真実が損なわれ続け、品質管理システムを保護するより良いインセンティブが必要とされている状況を鑑み、偽情報の急激な拡散に警鐘を鳴らしました。

低炭素社会を実現する準備や前例のない技術変化から新たな世界経済や地政学的現実への適応に至るまで、現在世界が経験している複合的な変遷は、より一層の長期展望、投資、国際協力の実践を指導者たちに要請しています。

「私たちは、テクノロジーの進歩が新たな課題も創出する不安定な時代を生きています。管理システムや労働者の再訓練が不十分だと、テクノロジーによって仕事は生み出されるよりも先に奪われてしまうでしょう。政府はもはやこれまでのようなレベルで社会保障を提供できず、反体制的な言説が勢いを増しています。新たな政治指導者たちは社会が直面する課題の原因としてグローバリゼーションをやり玉に挙げ、低迷する経済成長が単に不平等を増幅させるという悪循環が生み出されています。国家財政や社会不安のさらなる悪化を避けるためには、協調姿勢が不可欠です」。チューリッヒ・インシュランス・グループの主任リスク担当官のセシリア・レイエスはこう語っています。

第4次産業革命がグローバルリスクを深刻化する傾向も、本報告書のグローバルリスク意識調査の分析対象となっています。12の傑出した新興テクノロジーの分析を基に、専門家は人工知能（AI）およびロボティクスに対し、最高レベルの潜在的脅威および管理システム強化の必要性を明確に認めています。経済成長を促し複合的な課題を克服する可能性の高さにもかかわらず、専門家はさらにこれを、対象の12テクノロジーの中でも経済的、地政学的、技術的リスクの筆頭に挙げています。

マーシュ社グローバルリスク・アンド・スペシャリティー部門統括責任者であるジョン・ドゥリジックは次のように述べています。「人工知能により、気候変動や人口増加といった現代の重要な課題に、はるかに効率的に取り組めるようになります。AIへの投資は5年前に比べ10倍に達しており、既に急速な進歩を遂げています。しかしながら、AIへの依存度が高まる中で、サイバーリスクなど既存のリスクが劇的に深刻化します。軽減措置を講じることが同様に不可欠です」。

今年で3年目になりますが、「グローバルリスク報告書」では、企業が自国のグローバルリスクをどのように認識しているかを示す国レベルのデータを提供しています。

「グローバルリスク報告書2017年版」は、戦略パートナーであるマーシュ・アンド・マクレンアン・カンパニー、およびチューリッヒ・インシュランス・グループの支援により作成されました。また本報告書は、学術面でのアドバイザーとして、オックスフォード・マーティン・スクール（オックスフォード大学）、シンガポール国立大学、ウォートン校リスク管理および意思決定センター（ペンシルベニア大学）、ならびに「グローバルリスク報告書2017年版」アドバイザーボードの協力を受けています。

編集者向け注記：

以下のパートナー企業への問い合わせが可能です。

- Jason Groves, Director of Communications, International, Marsh & McLennan Companies, United Kingdom, +44 (0)20 7357 1455, jason.groves@marsh.com
- Pavel Osipyants, Senior Media Relations Manager, Zurich Insurance Group, Switzerland, +41 (0)44 625 20 13, pavel.osipyants@zurich.com

「グローバルリスク報告書2017年版」に関する詳しい情報は以下の手段で入手できます。

- 報告書発表記者会見を見る <http://wef.ch/live>
- フォーラムのアジェンダを読む <http://wef.ch/livetweet>
- フォーラムのツイッターをフォローする <http://wef.ch/twitter> および <http://wef.ch/livetweet> (ハッシュタグ：#risks2017)
- フォーラムのニュースリリースを購読する <http://wef.ch/news>
- 2017年の年次総会について詳しい情報を入手する wef.ch/follow
- Facebook でフォーラムのファンになる <http://wef.ch/facebook>
- Google+ でフォーラムをフォローする <http://wef.ch/gplus>

世界経済フォーラムは、世界情勢の改善に取り組む官民協力のための国際機関です。

当フォーラムでは、政治、ビジネス、その他各界のリーダーが、世界、地域および産業におけるアジェンダの形成に携わっています。(www.weforum.org)



World Economic Forum, 91-93 route de la Capite, CH-1223 Cologny/Geneva
Tel. +41 (0)22 869 1212, Fax +41 (0)22 786 2744, <http://www.weforum.org>